

第17回 南児童センターまつり

南児童センター



児童センターで活動している元氣クラブ主催、大口南児童センターまつりが開催され、多くの子どもたちが参加しました。

地域のひととの交流や、世代を超えて一緒に楽しむことを目的におこなわれている年に一度のセンターまつり。(株)東海理化、カレィハウスCOCO壹番屋、矢戸川をきれいにする会も協力してまつりを盛り上げてくれました。

11/10
土

大中3年生 地方自治について考える

大口中学校



大口中学校3年生の社会科(公民)「地方自治」の授業で、のら猫の問題解決に向けて活動している「大口猫の会」代表 武田麻子さんと、役場環境経済課 担当職員をゲストティーチャーに招き、のら猫が増え続け住民から寄せられる苦情・問題を、大口猫の会と動物病院、行政が一緒に取り組んでいる社会参画について説明を受けました。生徒は、身近に起きている問題を知り、社会参画について考えました。

11/8
木

「山姥物語」郷土の伝承をたずねる

西保育園



西保育園では郷土を愛する心を育む活動として、毎年、全園児が大口町歴史民俗資料館学芸員からお話を聞きます。

今年は園と同じ余野地区にある徳林寺を舞台にした「山姥物語」。物語を聞いたあと、徳林寺を訪ねました。「やまんばが、まだいるかもしれないね」と話す創造力豊かな子どもたち。紅葉する寺内を元気に散策しました。

11/8
木

地域の皆さんが交流する花植えイベントを開催

北地域自治組織



▲地域で回収したペットボトルキャップを換金し花苗を購入

北地域自治組織 環境部会が中心となり、地域の憩いの場(ついで)として、新宮地区と仲沖地区の2箇所の花壇で、6月は夏用、11月は冬用の花植えイベントをおこなっています。

今回、新たにアピタ前信号東側の花壇に、北地域のみなさんで色とりどりのパンジーを植えました。「環境活動によって地域の連帯感も深まってきています。水やりなど維持管理が大変ですが、心を癒す場所作りを続けます」と、環境部会の中野和弘さん。

11/24
土



交通安全啓発グッズ寄贈

大口町身体障害者福祉協会



大口町身体障害者福祉協会が交通安全祈願として製作した巾着、300個を町に寄贈されました。

これらの啓発グッズは、バロー大い口店で大口町身体障害者福祉協会の皆さんの協力により、交通安全キャンペーンとして来店者に配布し、交通安全を呼びかけました。

江南警察署交通課員は、「このようなたたかみのある活動を通じて、交通事故が1件でも減少すれば」と期待を寄せていました。

12 / 4
火

チャリティーグラウンドゴルフ大会

総合運動場

11 / 8
木

雲一つない晴天の中、大口町老人クラブ連合会主催のチャリティーグラウンドゴルフ大会が開催され、182名が参加しました。

結果は次のとおりです。

- ▽団体優勝（知事賞） 河北和みの会 準優勝（連合会長賞） 竹田ちとせ会 三位 シオン賞 秋田さわやかクラブ
- ▽個人優勝 佐竹金政さん（秋田） 準優勝 水野末子さん（河北）
- 三位 宮本幸三さん（竹田）



地域の理解が大切！認知症徘徊高齢者搜索模擬訓練

南地域自治組織



行方不明になる認知症高齢者が増え、全国的にも課題となっています。

普段から認知症について理解し、正しい対応を知って、地域で見守り支え合いましよと認知症勉強会で学んだ後、南地域で認知症徘徊高齢者搜索模擬訓練をおこないました。

認知症役にGPS発信器を身につけてもらい、スマートフォンで居場所を特定する訓練では、すぐに見つけられなかったことから「認知症にはいろんなタイプの方がいるので、地域の見守りが大切だと実感しました」と参加者。

11 / 22
木

大口町海外派遣事業報告会

大口中学校 ランチルーム

11 / 11
日

大口中学校のランチルームで、8月にシンガポールとマレーシアへ派遣された生徒たちによる報告会がおこなわれました。

派遣された生徒それぞれが現地で見感じてきたことについてまとめた模造紙を掲示したほか、スクリーンを使って報告するなど、来場者に派遣先の雰囲気や体験したことを伝えました。

